

9 北部ブロック

（1）地域づくりの目標

① 地域の概況

北部ブロックは、城北・広峰・水上・砥堀・増位・豊富・山田・船津校区からなる地域です。

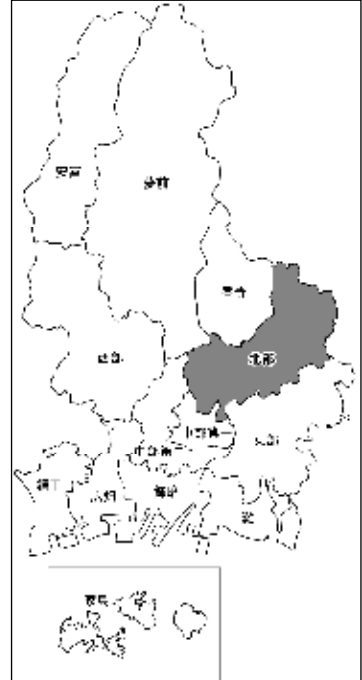
西播丘陵県立自然公園や播磨中部丘陵県立自然公園に囲まれた地域であり、ほとんどが丘陵・田園地域となっています。

地域の中央を市川が貫流し、市川西側には、JR野里駅周辺を中心に中部ブロックから連なる市街地が形成されています。また、旧野里街道や明治初期の主要な産業道路であった馬車道が通っていた大日線（国道312号）沿いに市街地、集落が形成されています。市川東側の平野部には、田園風景が広がる集落が形成されています。

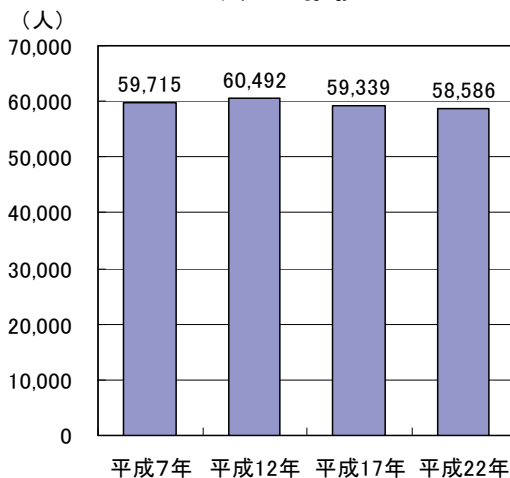
この一帯は播磨風土記に蔭山の里、多駝里と記され、古くから人々の生活が営まれてきた本地域では、古社、古寺、遺跡等の文化財が数多く点在しています。

城北公園の北側には陸上自衛隊姫路駐屯地と小・中学校が立地した街区が形成されています。

大日線（国道312号）と並行してJR播但線が通り、JR野里駅・砥堀駅・仁豊野駅が設置されています。また、市域北部の玄関口として、播但連絡道路に砥堀ランプ、豊富ランプ、船津ランプが設置され、豊富ランプ周辺では豊富団地（サバービア豊富）が整備されています。

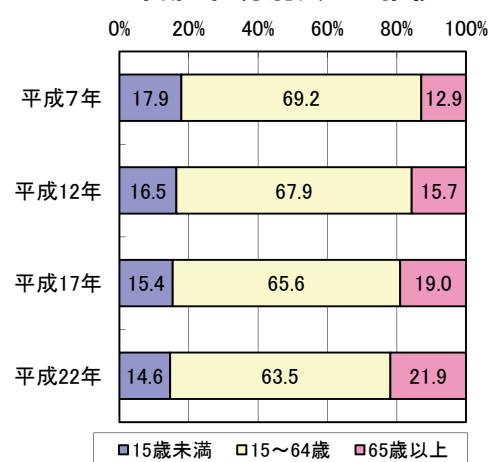


■ 人口の推移



資料：国勢調査

■ 年齢3区分別人口の推移



資料：国勢調査

② 地域づくりのテーマ

歴史と自然に満ちた山麓都市

③ 地域づくりの目標

◇ 賑わいのある北部副核と地域活性化を牽引する拠点づくり

賑わいのある北部副核の形成やランプ周辺の土地利用の誘導を図り、豊かな自然に恵まれたゆとりある環境の中で、働き、住み、憩うことのできる地域づくりを目指します。

◇ 豊かな自然や田園環境を生かしたレクリエーション空間づくり

増位山や広嶺山等の豊かな自然環境、市川東側に広がる田園環境、さらには地域に点在する歴史文化遺産の保全、活用により、多様なレクリエーション空間の形成を目指します。

◇ 緑と調和したゆとりと潤いのある住宅市街地づくり

市街地を取り囲む丘陵周辺に開発された住宅地を中心に、道路や公園等の都市施設が整い、周囲の緑と調和したゆとりと潤いのある住宅市街地の形成を目指します。



JR野里駅と花の北市民広場



神谷ダム周辺

（2）地域づくりの方針

① 拠点等

ア 地域核（北部副核）

- ・ J R 野里駅周辺地区を位置付けます。
- ・ 地域の中心となる商業機能を維持するとともに、行政施設やコミュニティの育成に資する文化・交流施設等を確保することにより、行政機能、商業機能、市民活動の場を備えた拠点の形成を図ります。

イ 歴史街道軸

- ・ 本地域に点在する古社、古寺、遺跡等の歴史的遺産を散策、回遊できる銀の馬車道や野里街道等の古道については、豊かな自然環境の中を楽しく歩くことができ、余暇時間の快適で健康的な過ごし方に寄与できる歴史街道軸として位置付けます。

② 土地利用

ア 商業系

- ・ J R 野里駅周辺を拠点商業業務地とし、公共交通の利便性等にも配慮しながら、商業施設や生活利便施設を誘導するとともに、歩行者を中心とした沿道型の商業業務地として城東線や野里街道沿道を位置付けます。また、大日線（国道312号）についても、広域交通の利便性を生かした沿道施設を計画的に誘導していくための軸として位置付けます。

イ 工業系

- ・ 豊富団地（サバービア豊富）や豊富町豊富、J R 仁豊野駅北側等の既存の内陸工業地では、引き続き工業地としての土地利用を図ります。

（ランプ周辺）

- ・ 豊富ランプ・砥堀ランプ・船津ランプ周辺において、無秩序な土地利用を整序、抑制しながら、ランプ周辺の特性を生かした流通業務施設や工業施設等の立地を適正に誘導します。

ウ 住宅系

- ・ 市川沿いの複合住宅地及び一般住宅地では、地場産業の育成と軽工業あるいは商業施設等との調和のとれた住宅地の形成を図ります。
- ・ 専用住宅地では、中低層住宅を中心とした良好な市街地の形成を図るとともに、山麓部の開発地では、自然環境と調和した低層住宅地の形成を図ります。特に、市街化調整区域に点在する住宅団地では、地区計画制度の活用により、現在の住環境の維持、保全を図ります。

エ 保全系

- ・増位山や広嶺山等の市街地を取り囲む丘陵は、良好な都市環境や都市景観を形成する重要な緑として保全を図ります。
- ・増位山や広嶺山については、地域を代表する自然環境や増位山随願寺、広峯神社等の歴史文化遺産に触れることができる拠点として、貴重な自然環境や歴史的風土を損なわない範囲での利用環境の向上を図ります。
- ・市川東側に広がる農地については、農業振興地域に指定されており、農業基盤整備や集落地の環境整備を図りつつ、集落景観等を創出する緑として保全、活用します。

③ 都市施設

ア 交通

ア) 公共交通

- ・公共交通空白・不便地域においては、地域住民、交通事業者など多様な地域関係者と連携しながら、コミュニティバスの導入など生活交通の維持、確保に向けた取組を推進します。

イ) 道路

- ・環状放射道路を構成する大日線（国道312号）、城北線及び白国線等からなる幹線道路網の形成を図ります。また、将来にわたり効率的かつ責任ある都市施設の整備を推進するため、長期未整備の都市計画道路について、廃止を含めた見直しを行います。

ウ) 自転車利用環境

- ・環境負荷の小さい交通手段等として自転車の利用を促進するため、JR野里駅前で自転車レーンの整備を推進するなど、歩行者と自転車が共存した安全で快適に通行できる空間の確保を図ります。

イ 公園・緑地

- ・姫路セントラルパークについては、周囲の自然環境を保全しながら、地域住民のみならず広域圏の人々に親しまれる施設として活用します。
- ・将来にわたり効率的かつ責任ある都市施設の整備を推進するため、長期未整備の都市計画公園・緑地については、廃止を含めた見直しを行います。

ウ 下水道・河川

- ・高木川西前処理場など老朽化した下水道施設の長寿命化、計画的な更新を図ります。また、農業集落排水の公共下水道への統合を進め、改築更新費用及び維持管理費の節減を図ります。
- ・二級河川である市川については、河川整備計画に基づき、氾濫時に大きな被害が予想される河口から生野橋までの区間の改修及び適切な維持管理を促進します。
- ・二級河川である船場川については、河川整備計画等に基づき、計画的な河川改修や適切な維持管理を促進します。また、流下能力向上対策として姫路競馬場において洪水

調節施設の整備を促進し、洪水被害の軽減を図ります。

④ 防災

- ・地域防災拠点として北出張所、船山出張所、城北公園、豊富球場を配置するとともに、各小学校をコミュニティ防災拠点として配置します。これらの施設については、耐震性の向上や設備等の自立性を確保するなど防災機能の強化を図ります。
- ・森林、緑地の持つ保水機能等の保全と土砂災害等の防止を図ります。

⑤ 景観

- ・増位山や広嶺山、神谷ダム周辺の豊かな水と緑が織りなす自然景観を保全するとともに、市街地を望む眺望点や身近に自然とふれあえる場として活用します。
- ・景観形成上重要な建造物については、その保存、修復を図るとともに、まちづくりの中での活用を図ります。



凡		例		
土地 利用		都 市 施 設		
拠点商業業務地	一般住宅地	自動車専用道路	補助幹線道路	主要公園・緑地・墓園
商業業務地	専用住宅地	幹線道路（環状）	歴史街道軸	一級・二級河川
工業地	農地・集落地	幹線道路（放射）	J R 線	水辺
複合住宅地	山地・丘陵	幹線道路（その他）	山陽電鉄	自転車レーン等整備路線

■ 北部ブロックの将来像